

半導体漫遊記

294

湯之上隆

サムスン電子の子会社で、洗浄装置やコータ・デベロッパを中心に各種の半導体製造装置をビジネスにしているSEMESが、2021年の売上高でスクリーンを抜いた。スクリーンの売上高は21.99億だったが、19年から急成長を遂げたSEMESの売上高はスクリーンを僅差で上回り、22.14億となった。

1位になったサムスン電子が、日本の装置メーカーに対して「サムスン電子向けの装置は韓国国内で生産せよ」と指示したからである。

そのKIDNSは、2005年に社名をSEMESに改名した。SEMESの「SE」とはSamsung Electronics

は、すべてSEMESが出荷することになり、スクリーンは排除される事態となった。要するにスクリーンは、サムスン電子(およびSEMES)に軒を貸して母屋を取られてしまったことになる。

このようにサムスン電子に一杯食わされたスクリーンは、それまで低下する一方、

の洗浄装置を開発し生産した。そして、サムスン電子からKIDNSに送り込まれた技術者は、DNSの洗浄装置の技術を習得していたと思われる。

またコータ・デベロッパにおいては、1998年に最大20%あったスクリーンのシェアが約20%とシェアの差が縮まってきている。

SEMESのシェアは、スクリーンを抜いて8.1%に上昇した。加えてSEMESは、ド

る現状を詳述した。スクリーンとSEMESまで述べた通り、スクリーンはSEMESにコタ・デベロッパをシェアを侵食されてい(微細加工研究所・所

SEMESにシェア侵食

母屋を取られたスクリーン

SEMESは1993年に、サムスン電子と大日本スクリーン(DNS、後のスクリーン)の合弁会社として、KIDNS(Korea IDNS)という社名で韓国に設立された。これは92年にDRAMの売上高で世界

ただし、ニコンや東

京エレクトロニクスは、技術漏洩を恐れてこの指示には従わなかった。

Electronicsの頭文字をとったものであり、より一層サムスン電子色が強くなっていった。そして10年

もメモリではなく、TSMCなどファブドリー向けの洗浄装置に活路を見出し、売上高を伸ばしていった。

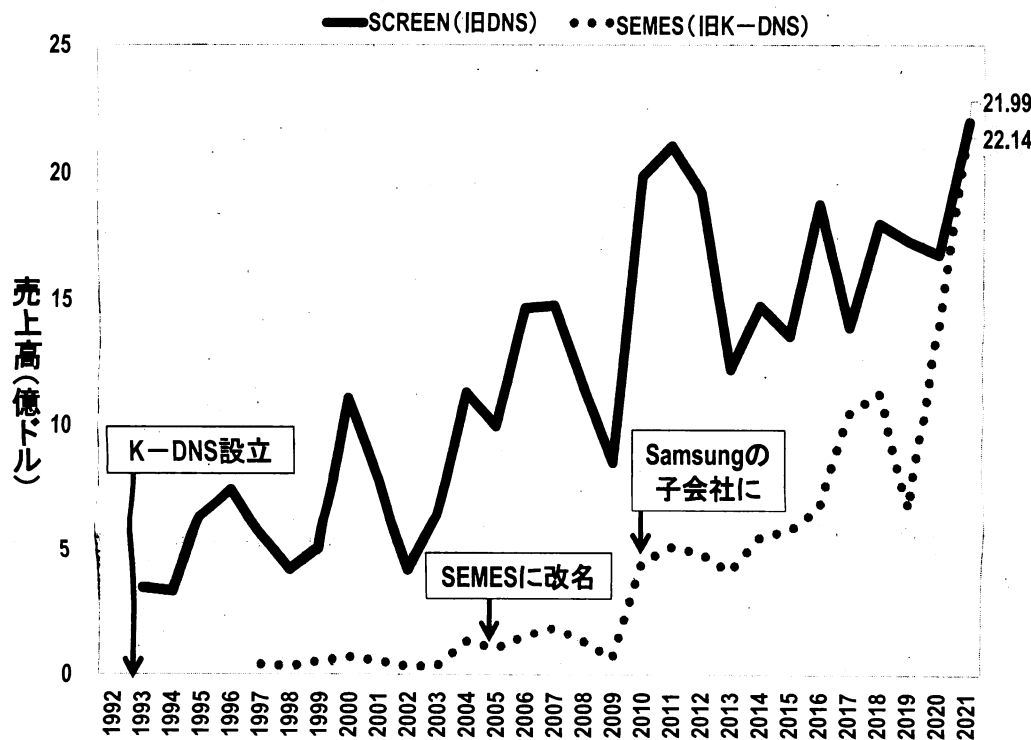
スクリーンを抜いて8.1%に上昇した。加えてSEMESは、ド

DNSだけがサムスン電子の意向通りに韓国国内にKIDNSを立て買取り、SEMESはサムスン電子の完全子会社となった。

それと同時にサムスン電子向けの洗浄装置

の世界シェアでは、09年にスクリーンが約70

前回、このコラムで



SCREEN (IDNS) と SEMES (IEK-DNS) の製造装置の売上高

RAMの売上高で世界

DNSは多数の技術

それをKIDNSに派遣

の洗浄装置の主流とな

日本の前工程装置の世